「新畑田池・釜方池」ため池災害ハザードマップ

緊急連絡先	電話番号（市外局番0869）	所在地
備前市役所（建設課）	64-3301	東片上126
岡山県備前警察署	63-0110	伊部276-1
東備消防組合消防本部	64-1119	西片上2039

情報の伝達経路

気象予警報（注意報・警報） → 岡山県

放送局

市役所 避難準備情報

テレビ ラジオ　消防団　広報車　各学校　サイレン・防災行政無線

住民のみなさん！

雨や風の強いときは、広報車や、サイレンの音が聞き取りにくいことがあります。

避難場所・連絡先

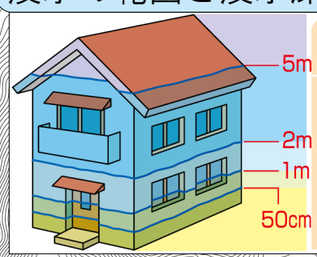
避難場所/

家族の集合場所/

家族の連絡先

氏名	連絡先

浸水の範囲と浸水深



浸水の状況	50cm未満	50cm～1m	1m～2m	2m～5m	5m以上
	床下が浸水	避難が困難となる	1階部分が水没	2階部分が水没	2階屋根以上が水没

地図凡例

	ため池
	避難方向
	洪水到達時間
	避難所
	市立病院
	災害対応型自動販売機
	警察署・交番駐在所
	災害時ヘリポート
	緊急輸送道路
	JR線・新幹線

ため池諸元	釜方池		新畑田池		決壊時洪水量	
堤高	8.9	m	7.7	m		
堤長	191.0	m	92.0	m		
貯水量	16.0	千m3	3.0	千m3	19.0	千m3

避難場所	電話番号（市外局番0869）	所在地	収容目安（人）
富尾公民館			

◎このマップには、ため池の堤防が決壊した時の洪水等に備えるための情報が載っています。

○避難場所　○避難の方向　○想定される浸水の範囲と深さ　○洪水の到達時間

※必ずしもこのマップのとおりの被害が発生するとは限りません。
有事の際には、市の防災情報や避難情報に従って避難するとともに日頃から地形を確認し安全な避難に役立てて下さい。

○浸水想定区域について
「浸水想定区域」は、ため池の堤防が決壊した時の「浸水区域・深さ」を表示したものです。

○洪水到達時間
「洪水到達時間」は、ため池の堤体が決壊した時の「洪水が到達するまでの時間」を表示したものです。

この図面はため池氾濫解析ソフト「SIPOND Professional版」にて国土地理院「国土基盤情報5mメッシュ標高、10mメッシュ標高」を使用して行った簡易氾濫解析の結果を出力し、地形図に重ね合わせて表示したものです。

縮尺　1：6,000　（A3用紙印刷時）

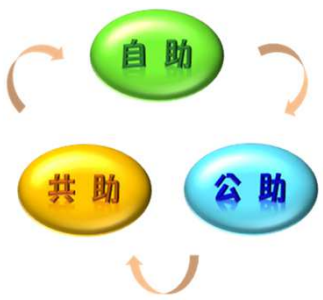
0　50　100　200　300　400　500m

令和7年3月　備前市作成

1. 地域の防災について話し合い

自助・共助・公助

災害は必ず発生します。日ごろから正しい防災知識を身に付け、地震や風水害などの様々な災害に対する備えをしておくことが必要です。
また、災害による被害を減らすためには、「自助・共助・公助」の連携が大切です。



●自助とは、
住民一人ひとりが自分自身を災害から守ることです。

●共助とは、
地域社会で助けあい、お互いを災害から守ることです。

●公助とは、
国・県・市など行政が住民を災害から守ることです。

まずは住民の皆さんが「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災の基本に立ち返り、自主防災組織の活動や地域の防災行事に積極的に参加して、助け合いの心あふれる安全で安心な地域社会をつくっていきましょう。

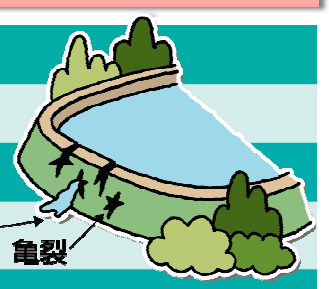
大雨によるため池の決壊
地域によって異なりますが、1時間に20ミリ以上、また降り始めから80ミリ以上の雨が続いたら、災害の危険性が高くなります。浸水対策を含め、十分な警戒が必要です。

地震によるため池の決壊
地震による決壊は、地震の揺れを原因として一気におこる場合と、しばらく時間が経過した後おこる場合があります。

3. ため池決壊の起こり方とその被害

① 大雨や地震で堤防が破損する。

② 破損した堤防が、貯水に耐え切れず決壊



③ ため池決壊による被害

●大量の水や土砂が濁流となって押し寄せます。

●建物や車は押し流されます。

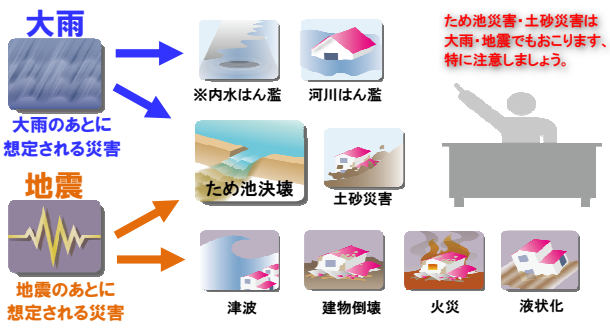
●道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。

ため池にこんな現象がみられた場合は、
決壊のおそれがあります。
すぐ避難しましょう。

●堤防に亀裂がみられる。
●張りブロックが壊れている。
●堤防から漏水がみられる。

ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

ため池が決壊するおそれがある状況では、周囲で様々な災害が発生していることが考えられます。
ため池決壊と同様に注意が必要です。



ため池災害・土砂災害は大雨・地震でもおこります、特に注意しましょう。

※内水はん濫とは

河川に堤防がある場合、堤防の河川側は堤外(外側)、堤防に守られた住宅地などがある側は堤内(内側)と呼ばれており、堤内の水によって引き起こされるはん濫は、内水はん濫と呼ばれている。

2. 日頃のため池管理

●ため池の草刈
堤体上の雑草は、ため池の亀裂や陥没、変形、モグラの穴などの変状を確認する上で 妨げになります。
年に数回草刈りをし、樹木類は幼木のうちに必ず伐採して、ため池をきれいにしましょう。

●漏水の確認
漏水等の確認のため定期的な巡視を行いましょう。漏水があっても直ちに危険ということにはなりませんが、流水に堤体の土が混じり濁っている場合は特に注意が必要です。
貯水位を下げて市へ相談してください。

●余水吐の管理
余水吐はため池の規定水位を保つための施設であるため、余水吐に土のうや材木等で堰上げをし、水位を上げることはため池の決壊を招く恐れがありますので、絶対にやめましょう。
また、余水吐に流木やゴミがある場合や草等が茂っている場合は、洪水時の流水を妨げますので、日頃からごみ等の除去をしましょう。

●貯水位の適正な管理
長期間にわたり水位を下げていると堤体に亀裂が生じることがあり、この状態で急激に水位を上昇させると浸透水で堤体が壊れる場合があります。逆に、満水状態から急激に水位を下げると堤体がすべりを起こすことがありますので適正な管理をしましょう。

ため池の異常をいち早く報告しましょう。
地域でため池を管理しましょう。

- 大雨や局地的豪雨、地震があった場合は、十分に 注意しながらため池の監視を行ってください。
- 現地で行動する際は、安全確保のため、必ず2人以上でおこなってください。

異常に気がついたら備前市役所へ連絡してください。
［建設課］　(0869)64-1830
［夜間・休日］　(0869)64-3301

4. 災害時の備え・注意点

家庭内では

- 気象情報や、防災関係機関等の広報をよく聞いておきます。
- 状況によって、遠出や外出は中止します。
- 避難場所について再確認します。
- 勤務先にいる家族などと連絡をとり、非常時に備えます。
- 家財道具・食料品・布団・衣服など生活に欠かせないものを、安全な場所へ移動します。

用意しておくものは

- ３日分以上の非常食（調理不要なカップ麺やレトルト類）、飲料水を用意して、断水や濁り水に備えます。
※飲料水は乳幼児や病人がいる家庭では特に必要です。
- 懐中電灯を家族に応じて準備します。
また、正しい情報を聞くためにラジオの用意もします。
※予備の電池も忘れずに。
- 大工道具も用意しましょう。

事前の情報収集で、余裕を持った行動をしましょう！

作成：備前市